

そらだより

2010.11 2号

秋が深まって来ました。木枯らしが吹こうとも、「そら」では外に出続けたいと思っています。第1号はいかがでしたでしょうか。『続けて行ってね』と暖かいお言葉をいただきました。それを励みに細く長く続けて行きたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

◎ある複雑な気持ち

うれしいきもち つかのま できごと・・・
嬉しい気持ちは束の間の出来事…でもうれしい



送迎に、さあ出発だ〜と車の運転席でスタンバイした男性スタッフ。がしかし、散歩に行くとはばかり思っただけで準備していた女の子Aさんが突然助手席に乗り込んできた。びっくりしたのは男性スタッフ。実はAさんはどちらかというところの男性スタッフに対しても気持ちを開くまでには至っていませんでした。言うまでもなく『わおお!! やったー。(ドキドキ!!) これでAさんとの関係に変化が』と、喜んだのは男性スタッフの方。ただ喜ぶのはそこまででした。手を払われ『運転手はあなたではない!』と言わんばかりの勢いで運転席から追い出された男性スタッフ。荷事が起こっているのか、それまできょとんとして様子を見ていた女性スタッフは急にAさんによって運転席へ、呼び込まれたのでした。Aさんは最近、自分の意思をはっきりと出せるようにもなっていたので、これはとっとうれしい出来事であるのです。まわりで大笑いしながら、車はAさんを乗せて女性スタッフが走らせて行きました。でもどうやら、その男性スタッフにとっては複雑な気持ちで、車を見送っていたようでした。…とさ。そのうち親しい? 関係が生まれてくることでしょうか。

◎そらの幼児さん

「どんぐり」と「はと」

毎日「そら」の午前中は幼児さんの活動時間となっています。秋は晴れると必ず「公園」に遊びに行きます。体を思いっきり動かしてもらいたいからです。スタッフのポケットにはいつも「どんぐり」が忍ばせてあります。着いたら最初にするのが「はと」に「どんぐり」をあげることです。堅い皮がついた「どんぐり」を石の上でかかちを使って割ります。そして細かくなった堅い皮を除いて、捲いてあげると「はと」は大喜びで食べてくれるというわけです。全員が「はと」を怖がることなく喜んでいきます。これを毎日するうちにどんぐり割が上手にできるようになったAさん。つまんでは自分の手から「はと」に食べさせてあげられるBさん、など誰もが「はと」との戯れを通して楽しんでいきます。それと共に秋も感じてくれているかな?

おねがいします

- ◎翌月分の申し込みは毎月10日までにお願いします。
- ◎2011年1月の「そら」の活動は4日からです。
- ◎面談を順次させてもらっています。まだの方にもこれからお声をかけさせていただきます。

浜町ほっとライン「そら」連絡先

〒210-0851

川崎区浜町2-22-7

(TEL) 044-276-8082

(FAX) 050-3302-4586

お申し込みはFAXはこちらへお願いします。